

暖地における水稲早期 跡地の青刈飼料栽培法

(その二)

熊本県菊池東部農業改良普及所

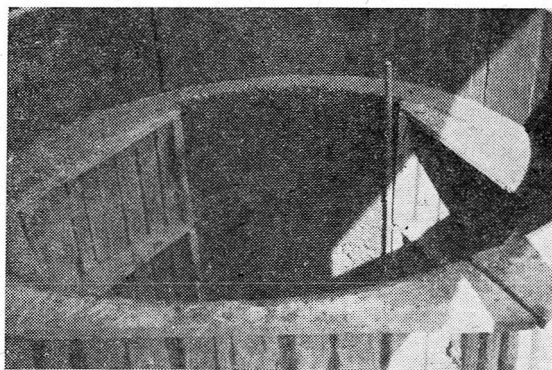
技師 水 島 隆

二月号では、飼料作物の草種別作付体系を三つの型に分けて記述したのであるが、なお作付に当つては特に次の事項について注意することが望ましい。

(1) 地力の培養とあわせて飼料生産特に質(養分価)の面から輪作栽培が望ましく、また、禾本科作物の単作はつとめてこれを



① エンバク、ペッチ、レープの3種混播栽培 (10月19日写す)



② 水稲早期栽培地帯においてサイロ構築が盛んに普及されつつある

避け、マメ科との間混作、あるいは禾本科、マメ科、根菜類の多種混播がよい。(写真①)
 (2) 施肥基準に基き、合理的な肥培管理を励行すると共に、良質堆肥の増産が行われなければならない。
 (3) ほ場の排水に努め、半湿田にあつては高畦栽培を行うこと。

(4) 跡作の収穫と、田植までの時間的な幅をできるだけ短縮するため、畜力利用の効率化を図り、なるべく機械化を促進しなければならぬ。

(5) 生産した飼料作物の貯蔵利用という目的からサイロの設置が必要で、急速に整備すると共に、特に、サンマーサイレージの調整につとめる必要がある。

以上の事柄を留意の上、作付体系を選定する必要がある。それには農家の経営条件、たとえば耕地面積と地力、労働力、家畜の種類と頭数、栽培技術等を考慮して飼料自給の計画的栽培がなされなければならない。(写真②)

2 耕種法について

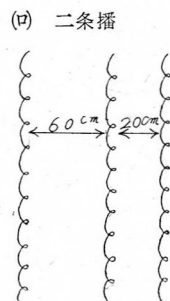
作付体系は三つの型に分けられるが、耕種法についてもおのずから相異がある。それは、あくまでも飼料の計画栽培という課題から検討しなければならないからである。筆者の地区で行われている畦型や栽培基準について概要を述べてみると次の通りである。

(イ) I型(秋作型)における畦幅の広狭この型に用いられる畦幅はほとんど四十五種の単条播か、六十種と二十種の二条播が実施されている。この型の特長としては、作付体系の項にも述べておいた通り、早期刈取りから冬作の実取り作物栽培までの期間(約七〇〜八〇日)を利用して飼料作物を栽培するものであるから、短期間に多収をあげ得る工夫が望ましいのであるから、そのためにはどうしても畦幅を狭くし

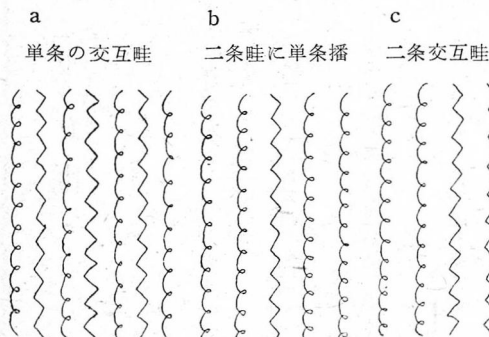
て播種量を多くするように設計する必要がある。

畦型を图示すれば第一図の通りである。例をとれば、青刈エンバクとペッチの混

第一図



第二図





① 水稲早期跡に栽培された青刈トウモロコシとカウピーの混播栽培 (9月20日写す)



③ 青刈エンバクとコモンベッチの混播栽培状況 (11月12日写す)

播。青刈トウモロコシとカウピーの混播栽培では単条が用いられており(写真③・④)馬鈴薯、青刈ナタネの栽培では主として二条畦栽培が行われている。(写真⑤・⑥)然し一部の農家例えば畜力カルチを操作しない農家では、従来の馬鈴薯、ナタネの栽培法が実施されている事も当然である。

(a) II型(冬作型)における畦幅の広狭
この型の特長はI型で栽培された飼料を収穫して、また、植付出来ることである。だから大体においてI型の耕種法をそのまま実施している養畜農家が多いが、然し栽培期間が相当永いから、これを応用して交互畦播や二条交互畦播栽培が広面積実施されるようになった。(第二図参照)

この交互畦に入られる草種は、禾本科と苧科の混播に根菜、葉菜類が主として



⑤ 早期跡に2条畦栽培された秋馬鈴薯の収穫 (11月22日写す)



⑥ 早期跡に2条畦栽培された青刈レーブの生育状況(1月30日写す)

栽培され、一部の酪農家では青刈エンバクの単条を交互畦的に刈取って青刈飼料の計画給与を実施している。写真⑦は単条交互畦栽培を実施している例であり、写真⑧は(b)、写真⑨は(c)によって栽培されている状況である。ただこの型の場合、注意しなければならぬことは、根葉菜類を禾本科の畦間に導入するのであるから、畦型を決定したならば、禾本科と根葉菜類の畦をきめておいて、播種期をあまりおくらせぬようにしないと折角の交互畦栽培もその効果をあげ得ないから注意しなければならない。

(c) III型(跡作全期型)における畦幅の広狭
この型の特長は草種別にも長期間に亘って栽培されるのであるから、作付の体系で記述したように、一度に収穫できる草種

と、数回にわたって刈取り利用する草種とを適当に組合わせて混作するか、交互畦栽培を行なって利用率を高くし、刈取回数と平行して多種の青刈飼料を給与するようにする必要がある。

この型に使われる畦型は前二者と大体において同じで、写真⑩は青刈エンバクを九月一日に二条に播種しておき、十月十日にセブントップとカンランを交互に栽培したものであるが、生草収量は極めて多い。

跡作全期を通じて栽培することの出来るこの型は酪農家にとり最も理想的な青刈飼料の平衡栽培が出来る。青刈飼料として給与するかたわら、サイロ詰による夏季エンシレーシの利用はこれまでと全く難問題とされていた水田酪農の飼料自給をおおよそ解決出来たものと筆者は考えているし、そ



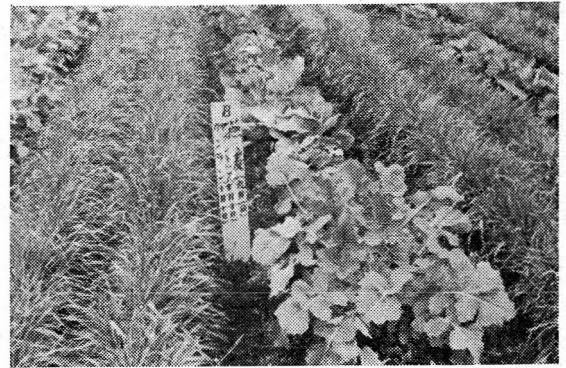
⑦ 早期跡地に栽培された青刈エンバクと青刈レーブの交互畦播生育相



⑨ 2条交互畦播による青刈エンパク蚕豆の栽培法 (5月1日写す)



⑧ 早期跡地 | 型収穫後 II 型で栽培された青刈エンパクと青刈レープの生育状況



⑩ III型に実施されている飼料は, (3月29日写す)



⑪ 早期跡地に栽培した青刈飼料をビニールサイロに詰めて1カ月後品質検査をしている所 (5月20日写す)

別表 早期跡地飼料作物栽培基準

作物名	品種	播種期	播種量	播種法	10a当り施肥量
青刈トウモロコシ	F1系統のもの	八月下旬	八〇〇キログラム	畦幅六〇センチ条播	キログラム窒素(P)過石(K)加里 一五〇 一五〇 一八〇
青刈エンパク	日向黒、前進、ホワイト、ラチュラル、コモンベッチ	八月下旬~二月中旬	四〇〇キログラム	畦幅四五センチ条播	一〇〇 一〇〇 一〇〇
青刈ライ麦	ペトクラーザー純系一八五	八月下旬~二月中旬	四〇〇キログラム	畦幅四五センチ条播	一〇〇 一〇〇 一〇〇
飼料用馬鈴薯	ケネベックN一号、農林一号	八月下旬~九月上旬	一五〇キログラム	六〇センチ×一五センチ	一五〇 一五〇 一五〇
イタリアン・ライグラス	ウネゼン	八月下旬~二月上旬	二〇〇キログラム	四五センチの混播	一〇〇 一〇〇 一〇〇
クリムソン・クローバー	早生	八月下旬~九月	一〇〇キログラム	単播・ライ麦との混播	一〇〇 一〇〇 一〇〇
赤クローバー	マンソンモス	八月下旬~九月	一〇〇キログラム	単播・ライ麦との混播	一〇〇 一〇〇 一〇〇
紫雲英	山下改良、岐阜原種	八月下旬~九月	三〇〇キログラム	撒播	一〇〇 一〇〇 一〇〇
青刈ソラマメ	在来	八月下旬~二月	八〇〇キログラム	六〇センチの条播	一〇〇 一〇〇 一〇〇
カウピ		八月下旬	五〇〇キログラム	青刈トウモロコシ混播	一〇〇 一〇〇 一〇〇
レウ		八月下旬~九月	五〇〇キログラム	六〇センチの条播	一〇〇 一〇〇 一〇〇
飼料用キャブ	C O、ミチノク	八月下旬~九月	一〇〇キログラム	六〇センチの条播	一〇〇 一〇〇 一〇〇
飼料用甘ラン	セブントップ、大倉大根	八月下旬	一〇〇キログラム	七〇センチ×二〇センチ	一〇〇 一〇〇 一〇〇

(註) (一) 品種のうちI型には早生系を、II型、III型には型に晩生系を栽培すること。
(二) 播種はなるべく早く、エンパク・イタリアンをIII型に栽培する場合は一番刈をなるべく早くして生殖生長による早期出穂を防ぐように注意すること。

3 飼料作物栽培基準

の裏付けのために懸命の努力を続けているものである。
以上三つの体系から耕種法の畦幅や畦型について申し述べたのであるがそれぞれの地域と栽培技術にもとづいて計画的に栽培されるよう希望する。
次の問題となるのが栽培基準である。早期栽培が熊本県に普及されてより現在まで、跡作飼料の栽培に従事した筆者は、地区普及所で別表に示す栽培基準を樹てているが、御参考までに掲示しておきたい。
これは筆者の地区ではほとんどの酪農家に実施されており、大体において計画どおりの実績をおさめている。(以下次号)